



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@ymail.ne.jp

◇頒価 200円 ◇毎月1回 第1月曜日発行 ◇会費 年間 3000円
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)
◇ホームページ <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>



東京高裁に入廷する (左から) 岩井信弁護士、星野治男さん、星野暁子さん、青木恵子さんら (6月26日)

星野国賠控訴審に勝利したぞ! 10月2日、大坂控訴審開始

6月26日、星野国賠控訴審で画期的な勝利を実現しました。東京高裁は原告及び被告・国の控訴をいずれも棄却し一審判決を支持。虐殺を開き直る国を許さず、反動の牙城・東京高裁で国のあがきを完膚なきまでに打ち砕きました(2、3面詳報)。星野文昭さん虐殺への怒りを胸に、国家権力と非和解で闘いぬいた労働者民衆の力で、次は大坂正明さんを絶対に取り戻そう。

東京高裁は10月2日と12月21日が大坂裁判控訴審の期日として指定しました。一審判決から2年半、無実の大坂正明さん奪還の決戦の時です。総力をあげた闘いで、国家権力による卑劣なでっち上げ弾圧を打ち破ろう。獄中から中国侵略戦争阻止を訴え続ける大坂さんと固く団結し、高市政権の中国侵略戦争と全面対決する今夏反戦闘争に全力で立ち上がろう。労働者民衆の反戦決起の力をさらに組織し、東京高裁に攻め上ろう。

ようやく控訴審の期日が決まりました。数々の証拠に照らせば、正明さんが犯人ではないことは明らかだと、私は考えています。しかし国家権力の側は、正明さんを「犯人」として終わらせたいのでしょう▼いまさら真犯人を探し直すより、渋谷闘争に参加し、反戦と平和を訴えた学生や労働者の誰かを「殺人犯」として固定する。そのほうが都合がよかったのではないかと。そう疑わざるを得ません▼

正明さんは、長期の未決勾留に加え、東京拘留所での処遇にも耐えながら生きています。この不利な状況の中で、勝ち筋はあるのか。私



大坂正明さん親族

佐藤政直

は「ある」と信じてい▼世界には、国家権力によって犯人とされながら、無罪を勝ち取った例があります。英国のバーミンガム・シックスは、IRA爆破事件で終身刑を受けましたが、自白と科学鑑定の誤りを、支援者、弁護士、ジャーナリストらが崩し、1991年に有罪判決が破棄されました。この事件は英国の冤罪救済機関C CRC創設の契機にもなりました▼正明さんの控訴審も、半世紀以上貼られた「犯人」というレッテルを、事実によって剥がし直す闘いです。声をあげ続け、証拠を積み上げ、国家の物語ではなく事実を直視せよと裁判所に求め続けること。そこに勝ち筋はあります。

今月の紙面

星野国賠控訴審判決で画期的勝利	...	2
星野国賠控訴審判決 弁護団報告	...	3
大坂さん解放へ 東京高裁申し入れ行動	...	4
絵画展報告 東京東部／緑風出版へ抗議	...	5
絵画展報告 東京西部／埼玉加須	...	6
絵画展報告 神奈川／大阪北摂	...	7

星野国賠控訴審判決

国のあがき打ち破る画期的大勝利

東京高裁第23民事部（古谷恭一郎裁判長）は6月26日、星野国賠控訴審判決で原告と被告・国の控訴をいずれも棄却し、星野さん獄死の責任が国にあると認めた一審判決を維持する判断を示しました。とりわけ私たちが「星野さんががんとなりながら放置し獄死に追いやった元凶」と弾劾して闘いぬいた徳島刑務所の医療放置に対し、高裁は法的判断を避けつつ「死亡に至る経緯も慰謝料にて斟酌するのが相当」と言及。国のでたらめな主張をすべて粉碎する大勝利をかちとりました。

東京高裁前には早朝から全国の仲間が集まり、判決前段集会を闘いました。「星野さん虐殺を絶対に許さない」いかなる判決



になろうが、中国侵略戦争阻止・大坂正明さん奪還へ星野精神で闘い続ける」との決意が次々と示されました。裁判で意見書を書いた船橋二和病院の柳沢裕子医師は「裁判長は、がんを知りながら患者を放置する徳島刑務所の医師に、病気を診てもらいたいと思うのか。徳島刑務所が行ったことは医療ではなく殺人行為だ」と医者として、人間としての怒りを表明。大阪東住吉冤罪事件被害者（再審無罪）の青木恵子さんもマイクを握り「今日は絶対に勝つと、真っ白な服で大阪から駆け付けた」と無実の星野さん虐殺への怒りと国賠勝利への確信を語りました。

星野勝利の次は大坂奪還だ

「本件各控訴をいずれも棄却する」。裁判長は主文を述べると閉廷を宣言し、裁判はものの1分で終了しました。判決理由も読み上げられない中、傍聴席からは「徳島刑務所の責任は判断しないのか」と怒りの声飛びました。

裁判終了後、弁護士会館に80人以上が集まり、報告集会を闘いました。岩井信弁護士は「国の主張を丸ごと退け、国の責任を認めた一審判決を高裁で維持した。なにより徳島刑務所長の違法行為の認定もひっくり返さなかった」と画期的な勝利を宣言しました。労働者民衆の闘いで「二審も国の敗訴」（報道各社）を強制しました。

この秋、大坂正明さんの控訴審が始まります。国賠勝利の画期的地平を切り開いた55年にわたる星野闘争の一切を注ぎこみ、無実の大坂さん奪還・でっち上げ粉碎へ総力あげて闘おう。

報告集会での原告・支援の発言

徳島刑務所の責任を追及し続ける

原告 星野暁子さん



一審判決が維持されたのは大きいと思う。

ただ、徳島刑務所の責任、文昭を苦しめた腫瘍を巨大なものにした責任について、控訴審でも追及したことを認められなかった。

たのは残念だ。どのような判決が出ても文昭は生きて戻ってはこない。私たちが積み上げた裁判の内容が、今獄中で苦しんでいる人たちの命と健康を守るために重要な内容を切り開くと思いい、勝利判決を願っていた。徳島刑務所の責任追及は降ろしたくない。

再審法は今闘っている冤罪被害者のために

大阪東住吉冤罪事件 再審無罪
大坂正明さん解放署名呼びかけ人

青木恵子さん



徳島刑務所の責任を認めなかったことは残念だが、完璧な勝利はなかなか私の体験でもない。一審判決が維持できたのは大きく、傍聴に来てよかった。

刑務所医療のひどさは私もよく知っている。願箋を書いてから治療まで何カ月も待たされ、病気はどんどん悪化する。一人

の人間として対応してほしい。私は今、個人で徳島刑務所にいる人を支援している。再審請求しているが、いつ出られるか目途がつかない。再審法は改悪の方向に向かっている。再審法は一体、誰のためか。今闘っている冤罪被害者のためだ。私はすでに勝った人間だが、無期の人にとって、再審は生きるか死ぬかの問題だ。国は真剣に向き合ってもらいたい。私は当事者の声をどんどん届けていきたい。

報告集会での弁護団報告

星野さんの問いかけ貫き
国のあがき粉碎する勝利

岩井信弁護士

「本件各
控訴をい
ずれも棄
却する」
という判

決で、一審判決を維持した。東京高裁は国の責任を認めた一審判決をひっくり返すことが多いが、そうはさせなかった。

国に対して刑務所医療の改善を強く求める判決だ。証拠保全が決定的だった。医療過誤訴訟では、病院の中に証拠が眠っている。堂々と刑務所から記録を取ってくるのができた。

徳島刑務所の医療問題は判決ではクローズアップされなかったが、医療センターの医師が「巨大な腫瘍」とカルテに書かざるを得ないところまで、誰ががんを放置したのか、これがこの裁判の核心的問いかけだ。星野さんが医療センターの医師に「いつそんなに大きくなったんですか」と質問したことに対する回

答を求める裁判だった。

もう一つ、刑務所の医療は誰のためにあるのか。3月1日に大きな腫瘍を発見し「CT必須」とカルテに書いた医師は、医療センターに移監することを星野さんに告げるまで50日間、一度も診察を行わなかった。刑務官会議で所長に報告したら「慎重に対応しろ」と言われ、慎重に対応した結果、何もしない。裁判では、国側の意見書を書いた医師は一審も二審も国と雇用関係にある刑務所の医官だった。患者に寄り添うのではなく、国に逆らわないことを信条とする医者だ。その意味でこの裁判は、医療訴訟として重要な問いかけを発した。

私が非常に大きなポイントだと思うのは、更生保護委員会に対して星野さんの病状を報告しなかった徳島刑務所長の不作為を違法と認め損害賠償を命じた点が、高裁でも維持されたことだ。期待権というのは目に見えない。期待は裏切られることもある。法的に保護に値する利益、保護に値する期待と言えるのかどうか。一審の裁判官は、徳島

刑務所長のやったことはひどい、と思ったのだと考えている。私たちが「徳島刑務所長を法廷に呼べ」と強く要求して闘い、国の嘘を暴くことができた。だから踏み込んだ判決になった。

70パーセントぐらいひっくり返されるかと覚悟していたが、高裁でその部分を維持したことは非常に大きな意味がある。正当な手続きに対する期待は保護されるべきだというメッセージだ。徳島刑務所長が人命よりも仮釈放手続きを終わらせることを優先したことに對する裁判所なりの判断が示された。

高裁が徳島刑務所の
医療放置を指摘

藤田城治弁護士



徳島刑
務所の責
任につい
て高裁は
法的な判

断を下さなかったが、判決では「徳島刑務所および本件医療センターにおける亡文昭に関する身体状態の管理に関する対応全般については、亡文昭が死亡するに至る経緯として死亡慰謝料

メディアは国の不正義を
訴える当事者に寄り添え

原告

文昭さん兄

星野治男さん



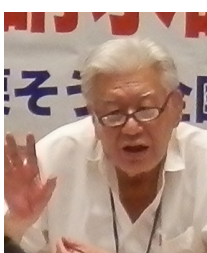
再審法
が話題に
なってい
るが、再
審が当た

り前にできるような社会を望む。本件国賠のような裁判は、被告人に当事者意識がない。だから証拠を改ざんしたり、隠したり、数字をごまかしたり、あらゆる胡散臭い手を使う。国の不正義を訴える原告側が、当事者意識をもって闘い抜けば勝てる。メディアは、闘う当事者の力になつてほしい。

の算定において斟酌することが相当である」と書いている。一審判決にもない記載だ。「徳島刑務所の対応は問題がある、その責任は慰謝料の中で考慮したい」という裁判長のメッセージだと思う。

受刑者の命を守ることに
つながる高裁判決

和久田修弁護士



徳島刑
務所長は
星野さん
のがんを
更生保護

委員会に通知する義務があった。手続きは公正に行われなければならぬという当たり前のことを、法的な保護に値すると高裁

「刑務所だから仕方
ない」は通用しない

土田元哉弁護士



法令上
は受刑者
の医療は
獄外と同
水準でな

ければならないにもかかわらず、国は「刑務所だから仕方がない」という論理に甘えてきた。裁判所はそういった論理を許さず、受刑者の命を粗末にしてはいけなないと判じた。受刑者の人権の観点から重要な判決だった

東京高裁申し入れ行動

無実の大坂さん即時解放を

6月18日、救援会は無実の大坂正明さんの解放を求め、東京高裁包囲デモと高裁申し入れ行動を闘いました。東京高裁に対し、この間全国で集めた大坂さんの解放を求める署名2500筆を提出し、即時解放と無罪判決を強く申し入れました。

昼休み、日比谷公園霞門に60人の仲間が集まりました。東京高裁第5刑事部(鈴木巧裁判長)は6月2日、弁護団による大坂さんの保釈請求に対し却下決定を行いました。無実の大坂さんが9年以上も東京拘置所にとらわれていること、拘留所の処遇



星野国賠判決日前、大坂控訴審期日も決まり高裁包囲デモも熱がこもる(6月18日)

が日々悪化していること、未決勾留という名の拷問をこれ以上許してはならないとの訴えを、鈴木裁判長は「検察官の意見を聴いた上、保釈は適当でない」と認め、これを却下する」とのなる理由の説明にもならない一言で切り捨てました。

却下決定を行ったのは、控訴審で裁判を担当する裁判官です。推定無罪が原則であるにもかかわらず、無実を訴え続ける大坂さんを最初から有罪と決めつけるに等しい保釈却下決定を行う裁判長など絶対に許せません。

高市政権が改憲と中国侵略戦争への動きを加速させる中、いよいよ大坂さんを取り戻す大決戦に突入します。この日の行動に先立ち、全国救援会の狩野満男共同代表や小泉義秀事務局長から決戦情勢が提起されると、集まった仲間は「控訴審開始までに1万人を大きく上回る署名を集め、大坂さんを取り戻そう」「来週に迫った星野国賠控訴審

も絶対に勝つぞ」「星野さん、大坂さんのように実力闘争で闘い、中国侵略戦争を阻止するぞ」とボルテージを上げ、高裁包囲デモに打って出ました。

米イラン停戦合意が発表される中、ホルムズ海峡への自衛隊派兵を狙い、G7で中国侵略戦争の放火者として登場した高市政権への怒りを横溢させ、大坂さん即時解放を訴えるデモと街宣が霞が関を席巻しました。

裁判所こそでっち上げの元凶

午後2時から東京高裁申し入れ行動に移りました。全国救援会と関西連絡会、東京三多摩、東京東部、千葉の各救援会の申入書を読み上げた後、参加者から大坂さん解放へのあふれる思いが堰を切って噴出しました。

「処遇の悪化を仕方がないで済みますのか。9年もの勾留は拷問だ」「海外では勾留日数を年単位で数えることはしない。長期勾留を当たり前ととらえる日本

の司法こそ問題だ」「緑内障や耳の不調に対して必要な検査すら東京拘置所は行わない。裁判所にこそ責任がある。外部の医者に見せろ、今すぐ保釈しろ」「大坂さんは55年も闘い続けている。無実だから闘い続けているのだ。裁判官は人民の声を聴け」「推定無罪の原則を裁判所が守っていない。検察や警察の言いなりで

申入書(抜粋)

裁判所の人権無視許さない

関西連絡会

無実であるのに自由が奪われ、耳の不調を訴えているのに検査さえされないという、劣悪な環境のもとで生きることを強いられるなど、あつてはならないことです。裁判長自らが懲罰ともいうべき、この人権無視の暴力行為を行っているということを自覚されているのでしょうか。釈放以外あり得ません!

政治的でっち上げ許さない

東京・三多摩救援会

9年に及ぶ勾留は、裁判所による人権侵害を超えた拷問です。人間は大地を踏み、太陽の光を浴び、自然の風にさらされてこ

はないか。何が三権分立だ。政治的でっち上げと、それに与する裁判所を許さない」「高裁は事実調べを行い、無罪判決を出せ」。東京高裁に提出した大坂さん解放署名は9700筆を超えました。反戦闘争に立ち上がる膨大な労働者民衆に大坂さんの闘いを伝え、1万を大きく超える署名を集めて控訴審に臨もう。

そ、人間の生命を繋ぐことができます。その全てを奪うことなど許されません。大坂さんが「沖縄の基地もない、核もない」闘いを目指したから、無実を承知で勾留を続けることは、絶対に許せません。

事実調べ行い無罪判決を

千葉救援会

一審懲役20年の判決は、35回の公判を全く無視して、50年以上の密室でねつ造した「供述調書の方が信用できる」などとして、裁判で明らかになった事実を否定して有罪判決を下したものです。大坂正明さんは無実です。東京高裁は事実調べを行い、一審原判決を破棄し無実の大坂さんの無罪判決と一刻も早い解放を求めます。

絵画展

沖縄と連帯し高市打倒・戦争絶対反対訴え絵画展

東京東部 小泉純子



6月6日から3日間、新小岩駅ビル「えきにこわホール」で「星野文昭・暁子絵と詩展」を開催しました。同時に丸木位里・俊さん作「沖縄戦の図」パネル（遺族承認）や沖縄戦、戦後の米軍機墜落事故、基地反対闘争、琉球弧ミサイル基地化の現実をパネル展示し「沖縄を戦場にするな」と訴えました。地域ビラ2000枚を配布し、開催期間

中も駅頭でビラを配りました。

ビラを手に来場した2人の女性、ビラの「命どう宝」の絵を見て涙が出たとのこと。石垣島出身だと言つて自衛隊のミサイル基地強化を心配していました。来場者にはこれまでになく沖縄出身者が多く、昨年に続き来場した女性は沖縄のお菓子を差入れしてくれました。最終日に来たご夫婦も石垣島出身とのことで「高市は嫌い。好きな人なんかいないよ」と話していました。看護師さんは知人の娘が冤罪被害者になり今も闘っていると話し、医療切り捨てにも怒っていました。大坂さんリーフを拡大したパネルの前では、冤罪事件について憤る声も多く、来場者の多くが高市政権を批判していました。ビラを見て絵と詩に感動し暁子さんに会いたいと来場した女性もいました。来場者数145人、大坂さん解放署名は50筆集まりました。

日帝の中国侵略戦争に向かつての軍拡、改憲、排外主義扇動・総動員体制に対して、星野さん大坂さんの正義の闘いを訴えることが多くの人々を帝国主義打倒の闘いに組織していく力になることを確信する絵画展でした。

中国侵略戦争実力阻止へ首相官邸デモ



6月14日、改憲・戦争阻止！大行進が主催する反戦集会が東京・芝公園で開かれ、全国から集まった1000人の仲間とともに救援会も開きました。「中国侵略戦争実力阻止！トラランプ・高市打倒」を掲げる荒々しいデモが都心に登場し、アメリカ大使館や首相官邸を直撃しました。米イラン「停戦合意」後も国会前で反戦を訴える労働者民衆は増え続けています。これに対

し既成野党勢力は「憲法9条で平和な日本を守ろう」「日本は80年間戦争をしてこなかった平和国家。繁栄を守ろう」と民衆の怒りを排外主義イデオロギーと帝国主義の下での「平和」に押しとどめようとしています。

国会を取り巻く民衆の怒りを、アジア人民と連帯し中国侵略戦争を本気で阻止する闘いへと押し上げようとの集会提起が、参加者を鼓舞しました。戦争の元凶・帝国主義打倒へ、青年・学生・女性の決起と結合する闘いの新たな発展を切り開きました。

緑風出版に抗議申し入れ行動

大坂弁護士と救援会は6月18日、渋谷暴動闘争の裁判資料を

議申し入れを行いました。

得手勝手に引用し「星野と大坂が真犯人だ」といわんばかりの主張を展開した書籍『AI革命の光と闇』を出版した緑風出版および著者である小川進氏に対し、本の絶版と謝罪を求める抗議

西村正治弁護士が「看過できない誤り」として①本書で大坂正明さんと写真特定されている人物が全くの別人であること、②デモに参加していない人物の名前を複数挙げて写真特定していること、③写真に写っているマスコミや野次馬のカメラマンを「中核派写真真班」と決めつけ「弁護士が証拠写真真を隠している」と誹謗中傷していることを徹底弾劾しました。

で開示をがちとつた警察の捜査資料を含む」という揺るがぬ証拠を突き付けられて大動揺した小川氏は、すべての人物は自らが行った「写真鑑定」に基づき推測で当てはめたものだとも明らかにし、誤りを認めました。

こんなデタラメな本は絶版しありません。緑風出版は「言い分を鵜呑みにするわけにはいかない」と言い訳を連ねましたが、救援会が指摘した約50カ所に及ぶ虚偽記載について「8月末までに検証し結果を報告する」と約束しました。



裁判資料（大坂弁護士が一審

でつち上げ許さず、闘おう！

星野文昭・暁子絵と詩展 宮古島と杉並を結ぶ講演集会開催

東京西部 星野暁子

6月19日から21日まで、セシオン杉並で3回目となる「星野文昭・暁子絵と詩展」を開き、20日には「宮古島と杉並を結ぶ講演集会」を行った。

文昭の絵は、花・静物・風景画・人物画などできるだけ偏らないで展示するようにした。沖縄・琉球弧のミサイル基地のパネル展示も行い、展示としては完璧だ。

『週刊金曜日』を見て、星野について調べてきたという人がいた。『あの坂を上って』『前進』なども購入してくれた。その方は自らの人生を語り、2時間ぐ



らい会場で話しこんだ。

「戦争は絶対反対」という80歳ぐらいの女性など、今回、絵画展にはビラを見て参加したという女性が多かった。大坂署名21筆、アンケート10人。来場者は集会参加者を入れて120人だ。20日の「講演集会」は参加者が60名。清水早子さんが、この日に始まった「レゾリュート・ドラゴン」の演習でオスプレイが宮古島に来るため、オンラインでの講演となった。しかし、現地からの迫力が十分に伝わってくる講演になった。

宮古島のミサイル基地の現状



として、住民の精神的支えとなっている「うたき」を防衛庁が買い取っていたこと、弾薬庫の200メートル先に集落があることも改めて写真で確認した。

昨年8月6日の自衛隊隊長による恫喝事件についても、なまなましく記録された音声が届けられた。隊長が謝罪するというので、集まった場でも、「私の言ったことが、もし威圧的だと思われたとしたら本意ではないので、お詫び申し上げます」という謝罪とは認められない言葉を繰り返した。「県議会での自衛隊への差別を許さない決議が上がるなど、被害者を加害者として扱う動きが広まっている」と清水さんは語った。

獄中医療の変革、大坂奪還へ

岩井信弁護士からは、星野国賠訴訟を通して「医者とは、何か」という提起があった。19年3月1日にエコー検査で、巨大な肝臓がんを確認した徳島刑務所の医師は、「CT必須」とカルテに書いたが、所長に「複雑な背景の人だから、慎重に対処するように」と言われると、50日間、診察すらしなかった。医者ではなく、所長の言うことを聞

く職員として行動した。

星野国賠訴訟の勝利を通して、獄中医療の非人間的な現実を変えていかなければならないと強く決意した。今、大坂正明さんもこの下に置かれている。共に闘い一日も早く取り戻そう。

沖縄を、日本を侵略基地にさせない！ 絵画展開催

埼玉・加須 宮原昱

6月20、21日の2日間、埼玉

県加須市の「市民プラザかぞ」で12回目を数える星野文昭絵画展を開催しました。星野さんが獄中で描いた作品群の中から19点を展示。同時に大坂さんの無実を訴えるパネル、ミサイル拠点化・軍事要塞化が進む沖縄の現状と沖縄闘争2026のパネルも作成し、本年のテーマを理解してもらえよう工夫しました。21日には、支援者による暁子さんの詩の朗読、今年の「5・15沖縄闘争」の報告、そして「大坂さんは無実」の学習会も開催。

また、期間中ずっと、受付脇のコーナーで星野さん・大坂さんの闘いや沖縄の現状を伝える映像を流し続けました。梅雨空で

ぐずついた天候でしたが、2日間の来場者108人、大坂さん解放署名11筆を数えました。

いま日帝・高市は、米帝・トランプと共に、沖縄を戦場にすめる中国への侵略戦争突入に踏み切っています。中国スターリン主義・習近平もまた、その大国主義的民族主義を鼓吹して軍事的対抗をはかり、世界戦争を促進しようとしています。誰もが戦争への足音を感じています。絶対に反戦の闘いを爆発させなければなりません。

絶対反戦の重要な闘いの一つ「星野絵画展運動」を、自分たちの住む加須の地で成功させることができました。この運動を埼玉で、そして全国で、強力に展開していきましょう。



鶴見絵画展と大坂裁判学習会で 大坂さん奪還への決意を新たに

神奈川 高橋道子

横浜鶴見絵画展を鶴見区民センターサルビアホールで6月19日から3日間、開催しました。星野国賠控訴審判決、大坂正明さんの控訴審の開始を控え緊迫した中での開催となりました。

6月20日に大坂弁護士団の藤田城治弁護士を講師に学習討論会を行い、大学生3人を含む25人が参加しました。藤田弁護士は「大坂さんは無実(控訴審の現段階)」と題し、大坂裁判一審判決(2023年12月22日)が「唯一の状況証拠」とされる証人証言が破綻しているにもかかわらず

有罪・20年を認定し、これは公判中心主義や憲法をも踏みにじる暴挙であると弾劾しました。さらに「控訴審では専門家証人・事実証人の証拠調べを請求して闘う」と表明されました。

**星野さん獄死を忘れず
大坂さん解放へ全力投入**

今回の企画展において私は会場と街頭で一人でも多くの人に大坂さんの状況を伝え、署名を集めようと力を集中しました。

大坂さんの健康状態や東京拘置所の劣悪な処遇を考えれば、大坂さんを獄から解放すること

は命の問題です。星野文昭さんの獄中死を決して忘れてはなりません。

街頭では感動的な出会いがありました。署名の趣旨を一字一句丁寧に読んで「こんな理不尽事があるのか。不当な事に対して闘っている人に敬意を表します」と署名とカンパを寄せたのは沖縄出身の人です。長崎で被爆したという女性は「沖縄を再び戦場にしてはならない」とアンケートに書いてくれました。

権力への怒りを組織するとき

署名を呼びかけて、司法権力に対する人々の不信、怒りの大きさを感じました。詳しく説明するまでもなく、「裁判所も間違え」「警察は信用できない」と進んで署名してくれる人も多いのです。この間の警察・検察の不正や再審決定などが背景にあると思います。同時に世界戦争の危機を感じ取り「何とかしたい」という思いが溢れています。

入場者100人、開催中に集めた署名37筆。その一筆一筆に込められた「大坂さん解放」「戦争を止めよう」の民衆の思いをを力に控訴審を闘い大坂正明さん無罪解放を実現しましょう！

中国侵略戦争阻止決戦の 爆発で大坂さん奪還を

大阪北摂 吾郷春代

6月20・21日、大阪府高槻市の生涯学習センターで「星野文昭★暁子 絵と詩展」を開催しました。絵画展案内のビラ配布の時に「あの時(71年11月14日)学生で渋谷に行きました」と言って署名をしてくれた元教育労働者と出会い、感動しました。

星野さんの絵画と共に、大坂さんの無実を示す展示を見て「世の中が荒々しくなっているのがとても悲しい。正しいことは正しいと言い続けることが必要だと思いました」「世の中の仕

組みが変わることを願います」等、星野さんの絵に癒やされ、暁子さんの詩に心を打たれたという感想と共に、戦争に向かう高市の攻撃に怒る感想も多く寄せられました。

反戦をめぐって熱い討論

21日の午後から藤本・影山監督による「日本を戦場にするな」の上映とミニ討論集会を行いました。「映像にある沖縄の在日米軍基地や高射程ミサイルの配備を見ても、星野さん・大坂さんを見ても、星野さん・沖縄決戦は正義の闘いだ」「反戦の声をあげ続け、高槻市民反戦行動を闘おう」「沖縄戦の再来は許せない。労働組合が反戦を闘うことが重要」等々意見が出ました。また、初めて参加された方が「中国侵略戦争は自分も許せないと思うが、反スターリン主義は理解できない」と提起され、討論を後日に継続するほど熱い討論が続きました。

米帝のイラン侵略戦争―中国侵略戦争阻止、戦争に向かう高市打倒の内乱的闘いの中で、星野国賠控訴審に勝利した力を結合して、大坂さんの無罪・奪還を勝ち取りましょう。



インフォメーション

- 大坂正明さん無罪奪還！東京高裁前街宣
7月9日（木）午前11時30分から午後1時
- 国鉄分割・民営化から39年 1047名解雇撤回！全国集会
7月11日（土）午後1時 千葉市文化センターアートホール
呼びかけ 国鉄1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動
- 国鉄1047名解雇撤回裁判控訴審&高裁デモ
7月16日（木）午後0時30分 日比谷公園霞門集合～デモ
午後2時 東京高裁101号法廷で裁判
- 大坂正明さん解放！東京高裁包囲デモ
7月23日（木）正午、日比谷公園霞門集合
- 反戦反核東京集会&デモ
7月25日（土）午後6時30分 渋谷勤労福祉会館
主催 NAZEN東京／改憲・戦争阻止！大行進東京
- 大坂正明さん無罪奪還！東京高裁前街宣
7月30日（木）午前11時30分から午後1時
- 8・6ヒロシマ反戦反核大行動
8月6日（木）平和記念式典粉碎デモ、集会予定
主催 8・6ヒロシマ大行動実行委員会
- 被爆81周年8・9ナガサキ反戦反核行動
8月9日（日）午前10時 爆心地公園集会 - 高市打倒デモ
午後1時30分 反戦反核集会（長崎県総合福祉センター）
主催 8・9ナガサキ反戦反核行動実行委員会
- 大坂正明さん奪還！中国侵略戦争阻止 渋谷街宣
8月13日（木）午後1時から2時 渋谷駅ハチ公口駅前広場
- 8・15反戦デモ
8月15日（土）午後6時30分 新宿駅東口
主催 改憲・戦争阻止！大行進
- 星野大坂救援会 2026年全国総会
8月29日（土） 亀戸文化センター第1第2研修室
- 大坂裁判控訴審 第1回期日
10月2日（金）午後2時30分 東京高裁429号法廷



「バラの絵は、もう写真を見なくても描けるんだ」と言っていた。文昭が描く花々は豊かで楽しい。この私の退院を喜び描いてくれたバラも、その喜びを花々の一つ一つが伝えてくれる。中央の赤いバラは、文昭と私かもしれない。 星野暁子

「暁子の退院を祝うバラ」 絵 星野文昭 2008年制作

大坂控訴審絶対勝利へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

星野国賠控訴審は、多くの皆様のご支援に支えられ、一審判決を維持する巨大な勝利を勝ち取ることができました。一方で東京高裁は、一審に続いて徳島刑務所の医療放置について判断しませんでした。私たちにあって、星野さんを獄死させた国を許すことは絶対にありません。この怒りと気持ちを、いよいよ始まる大坂正明さんの控訴審の一点に絞り上げ、無実の大坂さんを絶対に取り戻す闘いに総力を挙げて突入しましょう。

それは中国侵略戦争に向け改憲攻撃を強める高市政権との、倒すか倒されるかの激突です。獄中から必死に中国侵略戦争阻止の闘いの拡大を訴える大坂さんと固く団結して進もうではありませんか。

①1万人署名を絶対に達成しよう、②あらたな安保・沖縄闘争の巨大な闘いの心棒に、獄中非転向の大坂さんの闘いを据えよう、③裁判闘争を支える300万円カンパを実現し、闘いのレベルを大きく引き上げよう。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

大坂裁判勝利へ！夏の決戦方針

7月9日（木）東京高裁街宣

午前11時30分から午後1時 東京高裁前

7月23日（木）東京高裁包囲デモ

正午 日比谷公園霞門集合

7月30日（木）東京高裁街宣

午前11時30分から午後1時 東京高裁前

8月13日（木）渋谷街宣

午後1時から午後2時 渋谷駅ハチ公前

8月29日（土）星野大坂全国総会

亀戸文化センター 第1、第2研修室

闘いの方針は随時ホームページで発表します

大坂正明さん解放署名

6月30日現在 **9831筆**

全国の救援会の力で控訴審開始までに1万筆集めよう